



薬剤部

～情報～

2024年12月



11月の採用薬品（限定採用薬品）

ベレキシブル錠 80mg

抗悪性腫瘍剤

小野薬品工業



【効】

- 再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫
 - 原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫
- 【用】通常、成人にはチラブルチニブとして1日1回480mgを空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
- 【副】添付文書参照

11月の採用薬品（限定採用薬品）

ナルフラフィン塩酸塩OD錠 2.5μg 「フソー」

そう痒症改善剤

扶桑薬品工業



- 【効】次の患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限り）：
- 透析患者
 - 慢性肝疾患患者
- 【用】通常、成人には、ナルフラフィン塩酸塩として1日1回2.5μgを夕食後又は就寝前に経口投与する。なお、症状に応じて増量することができるが、1日1回5μgを限度とする。
- 【副】添付文書参照

当センター採用の褥瘡治療に使用される外用剤についてまとめました



■軟膏剤

外用剤名（主成分）	軟膏基剤	作用	特徴
ヨードコート軟膏【限定】 （カデキソマー・ヨウ素）	水溶性基剤 （吸水性）	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染コントロール ● 滲出液のや細菌を吸着し創面を清浄化する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大量の滲出液も吸収可能 ● 持続的な殺菌作用 ● ヨードアレルギーの人に使用不可 ● 創を清浄化する作用が強い
ネグミンシュガー軟膏 （ホピトドン・シュガー）	水溶性基剤 （吸水性）	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染コントロール ● 滲出液吸水 ● 浮腫軽減作用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浮腫を伴う創及び滲出液の多い創に適す ● 感染のコントロールに優れる ● ヨードアレルギーの人に使用不可
アクトシン軟膏【注文】 （ブクテジシナトリウム）	水溶性基剤 （吸水性）	<ul style="list-style-type: none"> ● 毛細血管拡張作用 ● 肉芽形成促進作用 ● 上皮化促進作用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 創面が乾燥しすぎることあり ● 冷所保存（10℃以下）
プロスタンデン軟膏 （アルプロスタギルアルファテックス）	油脂性基剤 （鉱物性）	<ul style="list-style-type: none"> ● 局所循環の改善作用 ● 肉芽形成促進作用 ● 上皮形成促進作用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 創の乾燥や刺激が少ない ● 創部に出血傾向が認められることがある（出血傾向を起こす薬剤注意） ● 大量投与（10g/日）は避ける
ゲーベンクリーム （スルファジアジン銀）	乳剤性基剤 水中油性（O/W）	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染コントロール ● 黄色ブドウ球菌などの細菌や真菌に幅広い抗菌作用をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大量の滲出液は吸収できない ● のびやすく塗り易い ● 刺激性が少ない ● 幅広い抗菌作用を示す
アズノール軟膏 （ジメチルソロニドピルズレン）	油脂性基剤	<ul style="list-style-type: none"> ● 抗炎症作用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 抗炎症作用主体 ● 抗菌作用は無い
亜鉛華単軟膏 （酸化亜鉛）	油脂性基剤	<ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚の収斂・保護作用 ● 壊死組織保護作用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒色期壊死組織を軟化させて、デブリドマンを行いやすくする ● 乾燥のある創面には使用しない

■軟膏剤以外

フィブラストスプレー （トラフェルミン）	液状スプレー剤	<ul style="list-style-type: none"> ● 肉芽形成促進作用 ● 上皮化を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 肉芽形成作用が強い ● 創面から5cm離して噴霧 ● 冷所保存
-------------------------	---------	--	---

